

みずのわ

学校だより
【第6号】

令和3年8月26日(木)
石巻市立石巻小学校

【ところ変われば～アメリカのコロナ事情～】

二十四節季でいうところの「処暑」が過ぎましたが、暑さの落ち着く気配はまだ見られず、それ以上に落ち着く気配のないのが新型コロナウイルスの感染状況です。本学は「まん延防止等重点措置」適用中のスタートであり、明日からは「緊急事態宣言」の対象地域となりそうですので、学校における感染症対策を再度確認・徹底しつつ、子供らの学びをしっかりと行っていききたいと思います。

さて、私事になりますが、私には妹がおり、その妹はアメリカ人と結婚してアメリカ国籍を取得していますので、実の兄妹でありながら国籍が異なるという何とも不思議な関係ではありますが、今回は定期的に交換しているメールにアメリカ（オレゴン州のポートランド）のコロナ関係事情が書かれてありましたので紹介いたします。



いかとおともだちがねているよ 古川煌汰 作

・・・日本も、デルタのコロナが増えてきて、対応が大変だろうなあと考えていました。こちらも、また感染者が増えてきて、8月13日から室内でのマスク着用が2か月ぶりに復活しました。ワクチンは、12歳以上は簡単に受けることができます。スーパーの中に入っている薬局や、普通の薬局、市民体育館、地域の定めた場所で、無料でワクチンが受けられます。ワクチンを注射できるのが、医師、看護師だけでなく、薬剤師にも許されているからです。私は、スーパーの中の薬局で接種しました。

9月からは、新学期が始まります。大学は、ワクチンを受けていない生徒が通学して授業を受けることができません。オンラインであれば、ワクチン接種なしでも受けられます。小学校に関しては、ワクチンをまだ受けられない年齢なので、マスク着用のみが今のところ言われている事です。ただ、ここ2週間で感染者数が増えれば、また前の年のように、クラスを午前と午後の二つに分けて通学という可能性も出てきます。1年ちょっと、平常ではない授業だったわけですが、生徒の学力が非常に下がったと言われています。それから、家庭によって、生徒の学力に差が出たとの事です。いくらオンラインで授業をやっても、親の助けや、管理がなければ、小学生は特に宿題を提出することもできません。親が、よく管理をしていた家庭の子供は、平常通りの学習ができ、親が全く関わらなかった家庭の子供は、どんどん遅れていったと言われています。

日本と違うところは、通学して授業を受けるのと、完全にオンラインで授業を受けるのと、選択が与えられている事です。公立学校では、オンラインのための先生方を雇っています。教師の雇用が、以前よりも増えたというわけです。子供によっては、オンラインで自分のペースで勉強する方があっているという子もいるようです。あと、面白いのは、親が勉強を助けられないので、家庭教師の需要が増えた事です。私も、5人くらい、算数、数学を助けています・・・

それぞれの国の事情がありますので、一概に良し悪しを付けることはできませんが、いずれにしても、現在の感染状況を考えますと、教育活動を考える上での最優先事項は「感染症対策を第一に考えた活動」だと思っています。

(校長／川田知宏)